

社員の「自律」と「協働」による業務外の取組み（『き・ず・な活動』）

三菱日立パワーシステムズ株式会社・江島俊也

1. 『き・ず・な活動』とは

『き・ず・な活動』とは、三菱重工グループにおいて、社会貢献や社員満足度向上につながるテーマに賛同する仲間が、時間外に集まって取り組むコミュニティ活動の総称である。

この活動に取り組む際の基本コンセプトは「自律」と「協働」である。個別テーマは、社員自らが提案しており、「この指とまれ」式にメンバーを募ってチームを立ち上げている。また、いつまでに何をやるかも全てチームに任されている。会社組織の力を借りることもなく、成果が出た場合でも見返りはないものとなっている。

それでも、社内横断的に老若男女が『き・ず・な活動』に集まっており、会社の指揮命令はなくとも、それぞれのゴールに向けて自律的に活動は持続されている。

なお、本活動に参加した社員からは、「本来の自分に戻れた」「こんな素晴らしい人たちに会えて良かった」「報酬も命令もないのに皆、率先して動いているなんて！」「会社が改めて好きになった」といった声が聞かれており、退職後も地域活動に参加する意欲を持っている者が多い。

2. 活動の具体例

『き・ず・な活動』の下では、現在、全 27 チームが活動中である。以下では、主なチームの活動例を紹介することとしたい。

【小学生サッカー大会チーム】

当社工場 6 地区の小学生チームを対象に、予選を実施し、地区代表を J リーグ使用のスタジアムに招待して大会を行っており、地域の子どもたちや保護者の方々に喜んで頂いている。



大会の準備から、試合進行、審判、音響操作、引率等に至るまで、全てを社員スタッフのみで行っている。

【写真洗浄ボランティア・チーム】

災害で傷ついた写真や思い出の品を洗浄、修復しており、持ち主に喜んで頂いている。当活動は、東日本大震災の津波で散逸、損傷した持ち主不明の写真の洗浄から始めたが、これは約6年かけて完了したことから、現在では、洗浄の対象を日本各地の損傷写真に広げながら活動を継続している。

【理科実験出前授業チーム】

全国の小学校に出向いて、子どもたちに「くだもの電池」の実験などに取り組んでもらっている。そうした実験を通じて、子どもたちに科学の面白さを体感してもらうとともに、発電の仕組みや省エネルギーへの理解も深めて頂いている。

【開発途上国の飢餓対策支援チーム】

社員が社内食堂でヘルシー・メニューを食べる毎に開発途上国の子どもたちに給食が支援される仕組みを導入して、途上国支援を行っている。NPO法人TF T事務局と協力して、対象となるメニューを導入したり、自販機設置を設置したりしている。

このほかにも、社内保育園で人形劇を実演するチーム、外国籍社員・女性社員・工場間で交流を行うチーム、東洋哲学を輪読するチーム、介護やメンタルヘルスに取り組むチーム等、それぞれが熱心に活動を続けている。



3. 活動の意義と効用

真の幸福とは、持てる力を使わず楽をすることでもなく、疲労困憊するほど働いてお金を稼ぐことでもないだろう。それは自分が真にやりたい目標に向き合い、自分が持つ能力を発揮しながら、自律的に取り組むこと、そのような「時間の充実」を感じることはないだろうか。

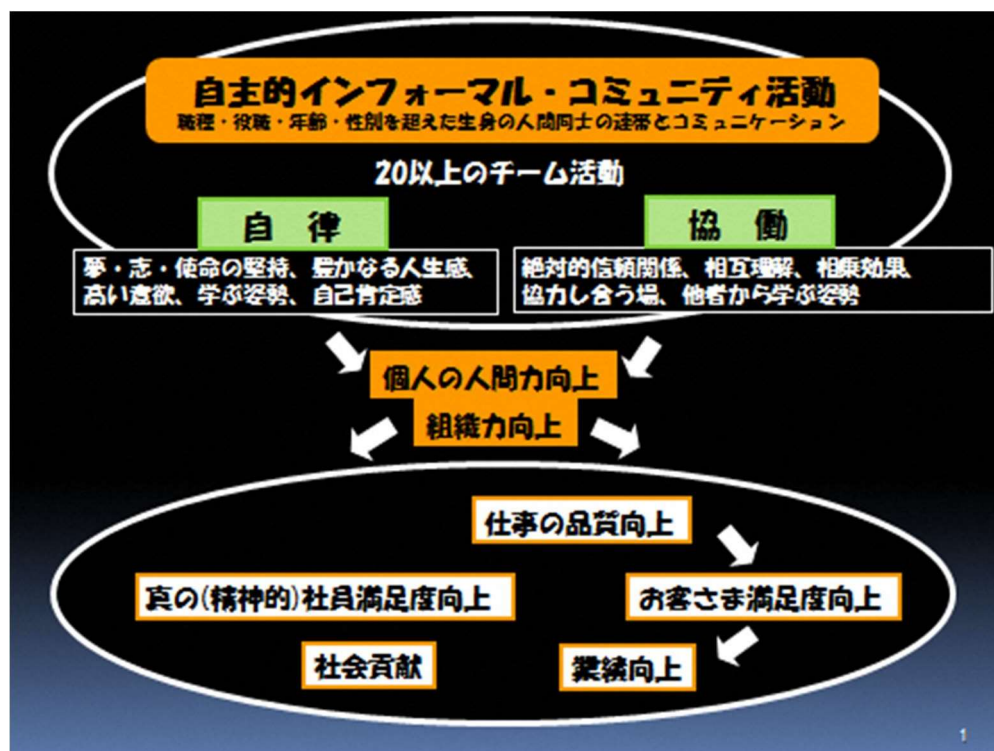
この幸福感は他者への貢献を実感する時に大きくなり、独りではなく同じ志を持つ仲間と協働で取り組む時に相乗効果的に大きくなる。そうした喜びは、職業人であれば本来は本業（会社の職務遂行）の中で感じる事が可能なのだが、様々な事情でそれが難しい場合もある。

『き・ず・な活動』では、社員一人ひとりが、自分が休日を費やしてでも

心底やりたいと思うテーマを対象に、自分の能力を活かし、仲間と共感しながら取り組んでおり、そうした「真の幸福」を感じる事が出来る場となっている。これが、愛社精神の醸成、自己肯定感とモチベーションの向上をもたらすのである。

また、『き・ず・な活動』を通じて、人間力も向上するであろう。人は失敗から多くを学ぶ。ただ、厳しい現代社会にあっては、結果を問われる本業での失敗は許されないものとなって来ており、本業でリーダーになるには相当の業務経験を要する。一方、結果よりもプロセスが重視される『き・ず・な活動』では新入社員でもリーダーになれる。リーダーとなった若手社員が、年長者のメンバーを引っ張ってゴールに導くのは至難であるが、社外や本業に迷惑をかけない限り失敗は許容される。『き・ず・な活動』でのリーダーは、業務命令や報酬ではなく、情熱、努力、献身によって人を動かすという苦労を経験することとなる。ここで培われるのが人間力なのである。

そして、『き・ず・な活動』は、所属地域、職種、年齢、性別を超えた老若男女による活動であることから、社内に相互理解と相乗効果をもたらす。これが仕事の品質を高め、製品の品質向上やスピードアップにつながっていくものと信じている。





三菱重工業(株)・三菱日立パワーシステムズ(株)が事務局となり、東日本大震災などの自然災害の復興支援を目的に「写真救済ボランティア活動」を実施中です。

「被災地のために何か力になりたいけれど、何が出来るのか分からない」、「ボランティアに参加したいけれど、現地にいく時間がない」など、被災された方々の力になりたいという気持ちをお持ちの方は、ぜひご参加下さい。皆さまの温かいご協力をお待ちしています。

『活動を紹介するブログをご覧ください。http://blog.livedoor.jp/shashin_senjo/ 』

【活動内容】※参加ご希望の方は、必ず活動内容(2枚目以降の詳細も)を一読下さい。

1. 日程: 不定期開催となっておりますので、事前にブログでご確認下さい。

月曜日: 午後18:00 - 20:00

土曜日: 午後13:00 - 16:00

2. 会場: みなとみらい 三菱重工横浜ビル内
(防災センター入口(美術館側)からお入り下さい)
JR/市営地下鉄 桜木町駅から徒歩10分
みなとみらい線みなとみらい駅から徒歩5分
(ランドマークタワーのお隣のビルです。)

<http://www.mhps.com/jp/company/network/office/index.html>

3. 内容: 自然災害で汚れてしまった写真やアルバムなどを洗浄し、新しいアルバムに整理して返送する作業

根気と丁寧さは必要ですが、初めての方でも大丈夫です!

4. 参加費: 初回のみ200円(写真返送の郵送料) ※2回目以降は、参加費はかかりません。

5. 保険: 本活動は、自己責任(ボランティア活動のため労災保険の適用外)となります。

危険を伴う作業は特にありませんが、必要な方は各自でボランティア保険に加入願います。

(ボランティア保険は、各社会福祉協議会で加入でき、保険料は、490円〜<来年3月末まで有効>です。詳細は3ページをご参照下さい)

6. 持ち物等: 汚れても構わない服装(エプロン等)、タオル(長時間作業される方は飲食も各自でご用意下さい)

※泥を落とす作業や、アルコール類を用いる作業等で汚れる可能性があります。手袋やマスクなど作業で使用する備品は事務局側で用意します。

7. お申し込み方法およびお問合せ

参加ご希望の方は、下記へご連絡下さい。

MM思い出返し事務局

メールアドレス: 2WLB@mhps.com



[→次ページへ続く](#)



9. 活動内容(詳細):

① 活動日について

参加者が集まり、ニーズ(洗浄する写真)がある限り、1項(前ページ)に記載の時間帯に開催します。

②活動内容

以下作業のどれかを、行います。(事務局にて当日決定します)

- ・ (写真取出)作業がしやすいように、アルバムから写真を取り出します。
- ・ (写真洗浄)水道水で洗います。水につけられないものは、乾燥させたまま、泥やカビをこそぎ落とします。
- ・ (アルバム作成)新しいアルバムに写真を入れます。

どの作業も、根気と丁寧さが必要な作業ですが、初めての方でも大丈夫です!

(活動の様子)



③これから参加申し込みいただく方/既に申し込みいただいた方へ

- ・初回参加の方に関しては、定員5名としております。また、最初に全体説明を行ないますので、開始時間間に合うようお越しいただきたく、エントリー時に、初回参加(◎印)人数とご都合を確認の上、申し込み下さい。
- ・諸事情で、活動を中止とする場合があります。その際は、ブログにてアップいたしますので、ご確認の上、会場にお越し下さい。

『活動を紹介するブログ http://blog.livedoor.jp/shashin_senjo/ 』

④注意事項(必ずご一読下さい)

【服装・持ち物について】

- ・泥や水、アルコール類がはねて洋服が汚れる可能性がありますので、**汚れても構わない服装(エプロンなど。貸し出し用エプロンも数枚ありますが、なるべくご持参願います。また、必要な方は着替えやタオル持参で)**ご参加下さい。
- ・作業に必要なゴム手袋、マスク等は会場を用意してあります。
- ・飲料等は各自でご用意下さい(会場ビル内にコンビニがあります)。

→次ページへ続く

【保険の加入について】

- ・この活動は自己責任(ボランティア活動のため労災保険の適用外)です。危険を伴う作業はありませんが、保険の加入を希望の方は、以下をご参考いただき、各自でボランティア保険にご加入下さい。
- ・ボランティア保険(以下URLご参照)の保険料は490円/720円で、来年3月末まで有効です。

https://www.fukushihoken.co.jp/fukushi/files/council/pdf/2018/volunteer_activities_pamphlet.pdf

※全国の社会福祉協議会で申し込みができますが、横浜近辺は、以下の通りです。

横浜駅近く神奈川県社会福祉協議会

http://www.knsyk.jp/s/global_syozaiichi/kaikan.html

桜木町駅近く横浜市社会福祉協議会

<http://www.yokohamashakyo.jp/sisyakyo/map.html>

【参加対象者について】

- ・お子様の参加に関しては、恐れ入りますが中学生以上(数時間の作業を集中して行える方)とさせていただきます。
- ・お預かりした写真には、被災者の皆様の個人情報、プライバシーに関わる事が入っています。これらに関し、決して口外しない事をお約束頂ける方のみとさせていただきます。
- ・不定期でも構いませんので、継続的にご協力いただける方を歓迎いたします。学校へ提出するボランティア参加証明を得る為だけの参加はご遠慮頂いています。
- ・団体でのご参加は事前に相談とさせていただきます。

【写真洗浄活動(活動の経緯など)について】

- ・この活動は、富士フィルム主催「写真でつながるプロジェクト(詳細は以下URL)」協力のもと、展開しています。

<http://fujifilm.jp/support/fukkoshien/?link=newsrelease>

- ・津波の被害を受けた写真は、汚泥などに埋まっていたので、カビが生えたり泥で固まっていたりします。海水中の細菌がインクに含まれるタンパク質を好んで繁殖するため、時間の経過とともに画像が失われてしまったものもあります。
- ・基本的、当団体が扱う写真は、持ち主不明の写真もあります。ですが、洗浄をする事で、探しやすくなり、持ち主やそのご家族の元に無事戻り、どなたかの明日への希望になるのかもしれない。大切な思い出の品を、一人でも多くの方々のお手元に届けられるよう、お力を貸して頂ければ、幸甚です。



以上